

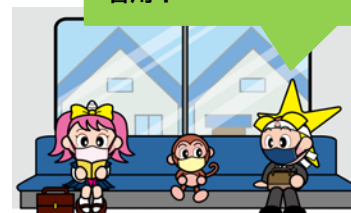
岡山県感染症週報 2024年第21週 (5月20日～5月26日)

◆2024年第21週(5/20～5/26)の感染症発生動向(届出数)

■全数把握感染症の発生状況

第19週	5類感染症	梅毒	1名(60代 男)
第20週	5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1名(80代 男)
		後天性免疫不全症候群	1名(50代 男)
		梅毒	4名(20代 男 1名・女 3名)
第21週	2類感染症	結核	1名(60代 男)
	3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2名(O145:幼児 女 1名、O26:30代 男 1名)
	4類感染症	日本紅斑熱	1名(70代 女)
		レジオネラ症	4名(60代 男 2名、80代 男 1名・女 1名)
	5類感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1名(40代 女)
		侵襲性肺炎球菌感染症	1名(30代 男)
		梅毒	6名(10代 女 1名、20代 男 1名・女 1名、30代 男 1名・女 2名)
		播種性クリプトコックス症	1名(80代 女)
		百日咳	1名(30代 男)

効果的な場面でのマスク着用！



©岡山県「ももっち・さるっち・うらっち」

■定点把握感染症の発生状況

患者報告医療機関数：インフルエンザ/COVID-19 定点84、小児科定点54、眼科定点12、STD 定点17、基幹定点5

- 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、県全体で247名(定点あたり2.94人)の報告がありました。
- RSウイルス感染症、咽頭結膜熱および手足口病の報告が多くなっています。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告が増加傾向にあり(定点あたり3.31人)、過去10年間と比較して最も多くなっています。

1. [新型コロナウイルス感染症\(COVID-19\)](#)は、県全体で247名の報告があり、前週とほぼ同数でした(定点あたり3.12→2.94人)。詳しくは、「[★新型コロナウイルス感染症\(COVID-19\)情報](#)」および岡山県感染症情報センターホームページ「[『新型コロナウイルス感染症\(COVID-19\)情報』](#)」をご覧ください。
2. [A群溶血性レンサ球菌咽頭炎](#)は、県全体で179名の報告があり、前週とほぼ同数でした(定点あたり3.22→3.31人)。地域別では、岡山市(4.93人)、備中地域(4.00人)、倉敷市(3.91人)の順で定点あたり報告数が多くなっています。この感染症は、就学前から学童期にかけての小児に多く、保育園や幼稚園、学校などで集団感染することもあります。患者との濃厚接触を避け、手洗い・うがいを行うなど感染予防に努めましょう。
3. [日本紅斑熱](#)は、2024年第21週に1名の報告があり、2024年の累計報告数は4名となりました(2023年の同時期:1名)。ダニが媒介する感染症として、他に[重症熱性血小板減少症候群\(SFTS\)](#)や[つつが虫病](#)などがあります。これらは、病原体を保有するマダニまたはツツガムシに刺咬されることで感染します。また、SFTSに関してはイヌやネコからの感染も報告されています。ダニに刺咬されないための予防対策等については[コラム「ダニが媒介する感染症に注意しましょう！」](#)をご覧ください。
4. [梅毒](#)は、2024年第21週に6名の報告があり、2024年の累計報告数は128名となりました(2023年の同時期:97名)。2023年は年間報告数が、県内で316名、全国で15,078名(2024年3月9日時点)であり、1999年の感染症法施行以降で最多でした。今年は県内において、前年をさらに上回る勢いで報告があり、注意が必要です。詳しくは、岡山県感染症情報センターホームページ「[『梅毒について』](#)」をご覧ください。

流行の推移と発生状況（新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は別掲載）

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ	↘	★	RSウイルス感染症	↗	★★
咽頭結膜熱	↗	★★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗	★★★
感染性胃腸炎	↗	★★	水痘	↘	★
手足口病	↗	★★	伝染性紅斑	↗	★
突発性発疹	↗	★	ヘルパンギーナ	↗	★
流行性耳下腺炎	↗	★	急性出血性結膜炎	↗	
流行性角結膜炎	↘		細菌性髄膜炎	↗	
無菌性髄膜炎	↗		マイコプラズマ肺炎	↗	★
クラミジア肺炎	↗		感染性胃腸炎（ロタウイルス）	↗	

【記号の説明】 前週からの推移： ↗：大幅な増加 ↗：増加 →：ほぼ増減なし ↘：減少 ↘：大幅な減少
 大幅：前週比100%以上の増減 増加・減少：前週比10～100%未満の増減
 発生状況：今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。（発生数が多いことを示すものではありません。）
 空白：発生なし ★：わずか ★★：少し ★★★：やや多い ★★★★：多い ★★★★★：非常に多い

～ ダニの活動が活発になる時期です ～ ダニが媒介する感染症に注意しましょう！

野外にいる吸血性のダニとして、マダニやツツガムシなどが知られており、これらのダニの中には、**日本紅斑熱、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)※**、つづが虫病などを引き起こす病原体を保有しているものがあります。

ダニは、春から秋(3月～11月)にかけて活発に活動します。

野外で作業する際は、肌の露出を少なくし、こまめに虫除け剤(マダニ、ツツガムシの忌避を効能としているもの)を噴霧するなどし、ダニに刺咬されないようにしましょう。

また、野外での作業後は、シャワーや入浴を行い、ダニが付いていないかチェックをしましょう。

※SFTSはSFTSウイルスに感染したイヌやネコからの感染も報告されています。

体調不良のペットや野生動物との接触は避けましょう。

★★ くわしくは、こちらをご覧ください ★★

- ⇒ [日本紅斑熱とは \(国立感染症研究所\)](#)
- ⇒ [重症熱性血小板減少症候群 \(SFTS\) に関するQ&A \(厚生労働省\)](#)
- ⇒ [ツツガムシ病とは \(国立感染症研究所\)](#)
- ⇒ [マダニ対策、今できること \(国立感染症研究所\)](#)



吸血後の
フタゲチマダニ♀



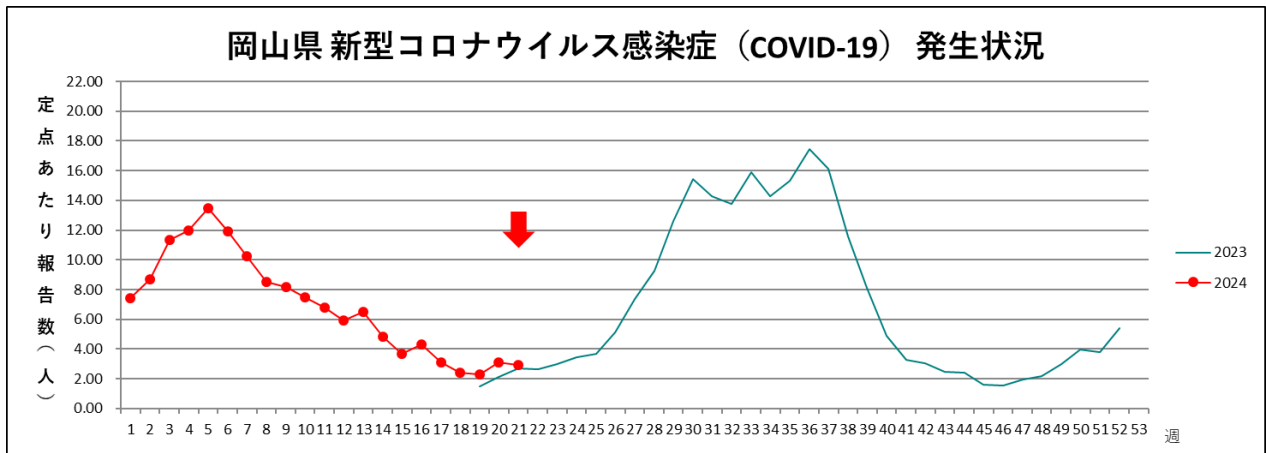
ヤマアラシチマダニ

岡山県環境保健センター
ウイルス科 撮影画像

☆新型コロナウイルス感染症（COVID-19）情報

岡山県の流行状況（第 21 週（5 / 20 ~ 5 / 26））

○新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、県全体で 247 名（定点あたり 2.94 人）の報告がありました（84 定点医療機関報告）。



※ 2023 年は定点把握対象へ移行した第 19 週から表示しています。

※ 全数把握時のデータは[こちら](#)

※ 2023 年 5 月 7 日（2023 年第 18 週）までの全数把握の患者数をもとに、2023 年 5 月 8 日以降の定点医療機関からの報告患者数を抽出して集計した患者数の推移（参考値）はこちらをご覧ください。→ [厚生労働省 HP](#)

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、県全体で 247 名の報告があり、前週とほぼ同数でした（定点あたり 3.12 → 2.94 人）。地域別では、備北地域（8.83 人）、倉敷市（3.88 人）、美作地域（3.10 人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。年代別では、10 歳未満、40 代および 50 代で前週から増加しました。

基本的な感染防止策（効果的な場面でのマスク着用、手洗い等の手指衛生、換気、3 密（密閉・密集・密接）の回避、健康的な日常生活、ワクチン接種、体調不良時の備え）に留意し、自主的な判断により実施しましょう。

●新型コロナウイルス感染症（COVID-19）とは

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、世界中で流行が継続している呼吸器症状などを呈する感染症です。咳やくしゃみ、会話などの際に排出される、ウイルスを含んだ飛沫・エアロゾル（飛沫より更に小さな水分を含んだ状態の粒子）を吸入することで感染すると考えられます。通常は感染者に近い距離（1m 以内）で感染しますが、エアロゾルは 1m を超えて空气中に留まりうることから、換気が不十分な環境では、感染が拡大するリスクがあります。

●症状

日本で流行の主流となっているオミクロン株は、潜伏期間が 2~3 日と短く、また、発症前からウイルスを排出し、感染源となることが分かっています。上気道で増殖しやすい特性から、従来株（デルタ株等）に比べ、鼻汁・頭痛・倦怠感・咽頭痛などの風邪様症状の頻度が増加している一方で、嗅覚・味覚障害の頻度の減少が報告されています。しかしながら、肺炎が進展し、重症化する例も少なからず認められます。特に高齢者や基礎疾患（慢性閉塞性肺疾患（COPD）、慢性腎臓病、糖尿病、高血圧、肥満など）のある方がり患すると、重症化する割合が高い傾向にあるとされており、注意が必要です。また、妊婦では妊娠後半期（21 週以降）などに重症化する割合が高いことが分かっていますが、ワクチン接種が重症化を予防する可能性があると考えられています（[日本における COVID-19 妊婦の現状（日本産科婦人科学会、2022 年 6 月 7 日付報告）](#)）。

なお、罹患後症状（いわゆる後遺症）については、以下をご覧ください。

- ・ [罹患後症状のマネジメント・第 3.0 版（2023 年 10 月 20 日発行）](#)
- ・ [『新型コロナウイルス感染症罹患後も続く症状（後遺症）にお悩みの方へ』（岡山県ホームページ）](#)

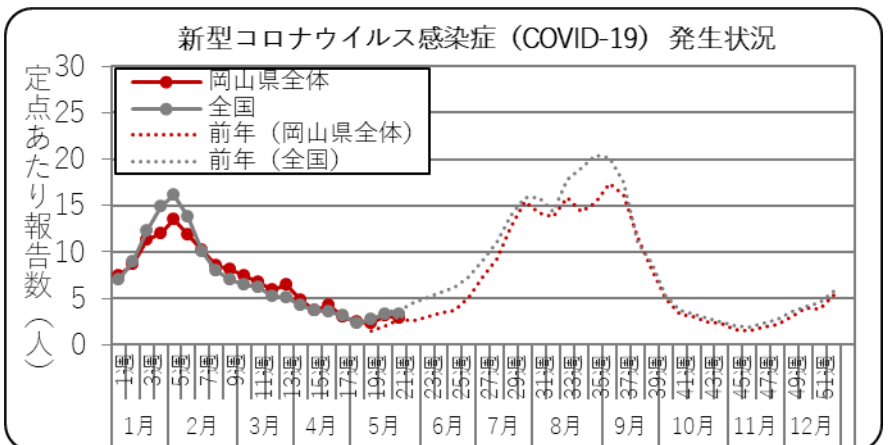
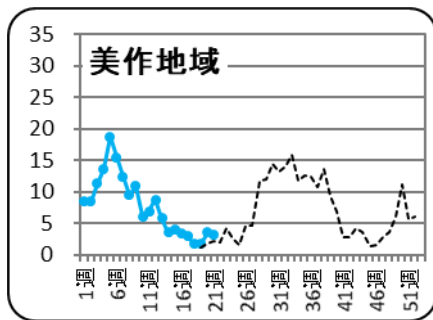
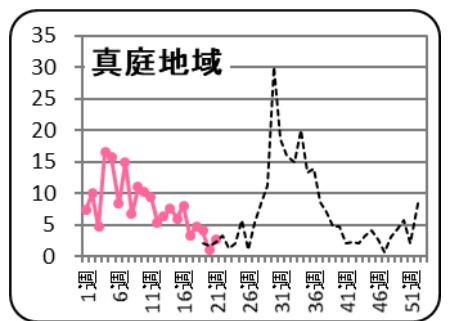
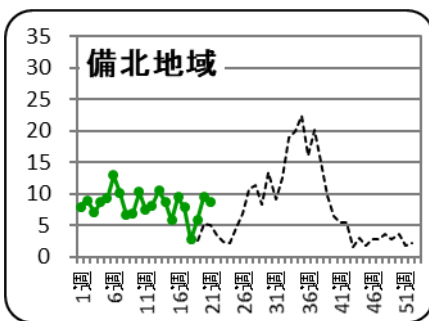
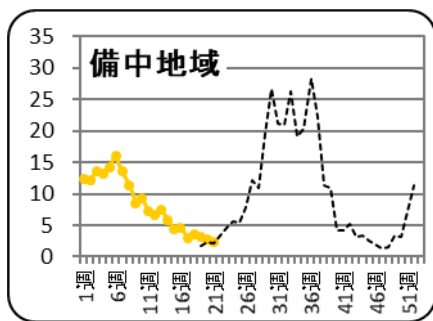
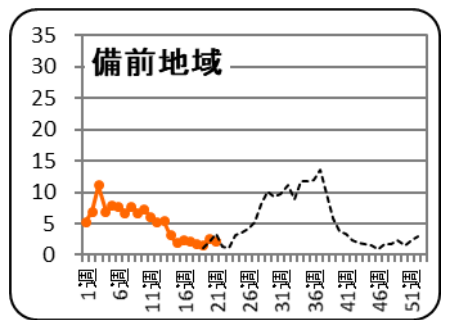
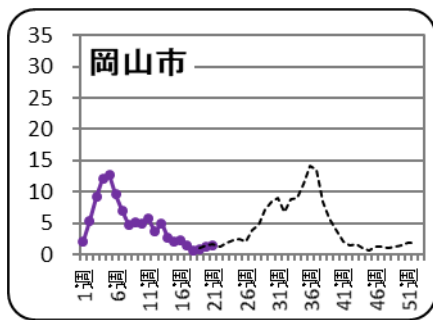


基本的な感染症対策！
ワクチン接種も大切！

1. 地域別発生状況

地域名	発生状況 (人)		推移	地域名	発生状況 (人)		推移
岡山県全体	患者数	247	➡	備 中	患者数	28	➡
	定点あたり	2.94			定点あたり	2.33	
岡山市	患者数	33	➡	備 北	患者数	53	➡
	定点あたり	1.50			定点あたり	8.83	
倉敷市	患者数	62	➡	真 庭	患者数	8	➡
	定点あたり	3.88			定点あたり	2.67	
備 前	患者数	32	➡	美 作	患者数	31	➡
	定点あたり	2.13			定点あたり	3.10	

【記号の説明】 前週からの推移 ⬆️ : 大幅な増加 ➡️ : 増加 ➡️ : ほぼ増減なし ⬇️ : 減少 ⬇️ : 大幅な減少
 大幅 : 前週比 100%以上の増減 増加・減少 : 前週比 10~100%未満の増減



※前年データは破線で示しています。

○全国の発生状況

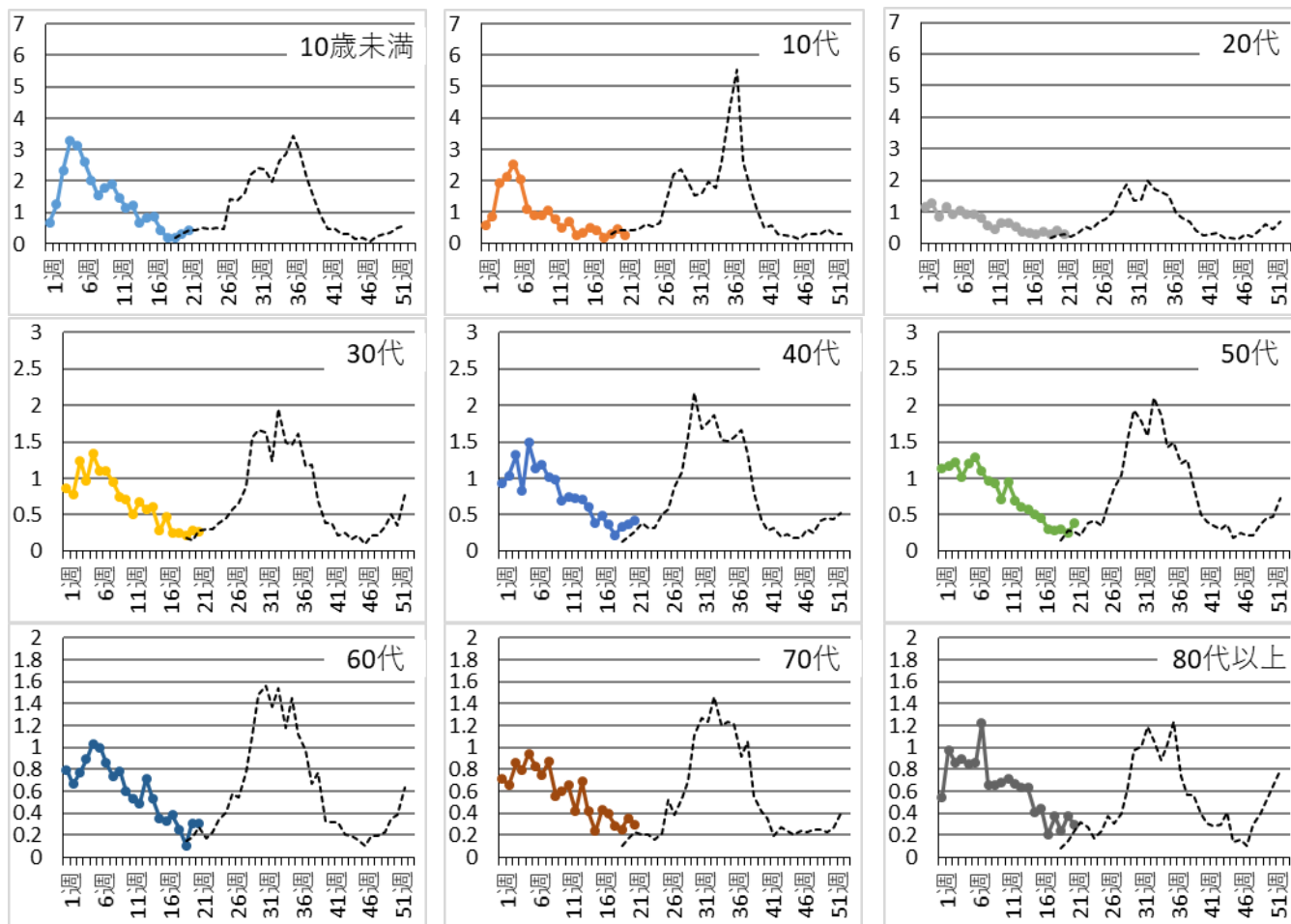
全国集計 2024 年第 21 週速報値 (2024 年 5 月 29 日時点) によると、全国の定点あたり報告数は 3.35 人となり、前週とほぼ同数でした。

2. 年齢別発生状況

○第21週 (単位：名)

合計	0-3歳	4-6歳	7-9歳	10-14歳	15-19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
247	13	10	12	10	12	23	23	35	33	26	25	25

○年齢階級別の定点あたり報告数の推移



※前年データは破線で示しています。

📢 留意点：年齢階級別の報告数の考え方について

定点医療機関は、小児科定点が内科定点に比べて多く選択されているため、**報告数は小児に偏ります**。一方で、年齢階級別の報告数により、**経時的な流行全体の傾向(トレンド)と水準(レベル)の把握および年齢階級ごとにおける流行の傾向と水準を把握することができます**。

3. 新型コロナウイルス検出状況 (ゲノム解析)

ゲノム解析の状況は以下のホームページをご覧ください。

○岡山県の状況

→ [新型コロナウイルスのゲノム解析 \(岡山県感染症情報センター\)](#)

○全国の状況

→ [SARS-CoV-2 変異株について \(国立感染症研究所\)](#)

6 / 1 ~ 6 / 7は『HIV検査普及週間』です！

～ 行こうよ HIV 検査。自分のために。そして、大切な人のために ～



レッドリボン
エイズに対する理解と
支援の象徴

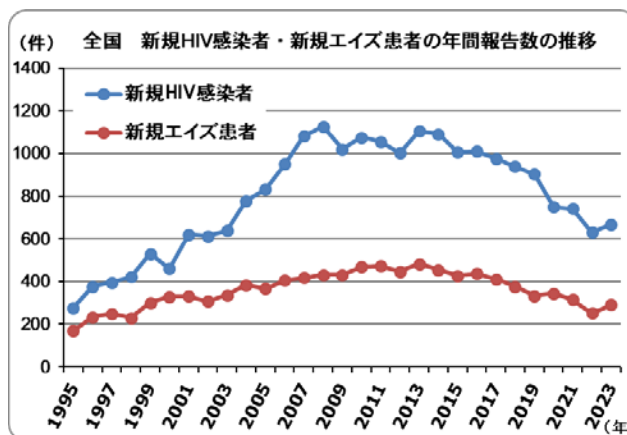
岡山県は、『受けやすい検査』『戦略的な普及啓発』『関係者の連携強化』を3本柱に、全県を挙げて、HIV（ヒト免疫不全ウイルス）感染防止と「いきなりエイズ[※]」防止に取り組む、「おokayamaエイズ感染防止作戦」を実施しています。その作戦の重点実施期間である「HIV検査普及週間（6 / 1 ~ 6 / 7）」の事業として、6月中に県内の保健所・支所において、啓発や夜間の特例検査を実施しています。

また、近年全国的に梅毒の感染者も増加しています。2023年は岡山県でも過去最多の316名（暫定値）の感染者が報告されました。県内の保健所・支所では、性感染症の原因となるHIV、梅毒、クラミジアの検査を行っています。検査日時の詳細はこちらをご覧ください。 → [【おokayamaエイズ感染防止作戦】](#)

※「いきなりエイズ」とは、エイズ（AIDS 後天性免疫不全症候群）発症によって初めてHIVに感染したことが判明することです。HIV感染後エイズ発症まで、通常数年程度の期間を要するとされていますが、気づかずに過ごすため、HIV感染の治療の遅れとともに予期せぬ感染のひろがりにつながる可能性があり、対策が必要です。

1. 全国の新規HIV感染者と新規エイズ患者

2023年の国内における新規HIV感染者と新規エイズ患者（いきなりエイズ）報告数の合計は960件（速報値）であり、2022年（884件）より増加しており、6年連続の減少から増加に転じました。新型コロナウイルス感染症流行により減少した検査件数が回復したことが影響している可能性もありますが、依然として新規エイズ患者報告数が全新規報告数の約3割のまま推移していることから、引き続き注視していく必要があります。

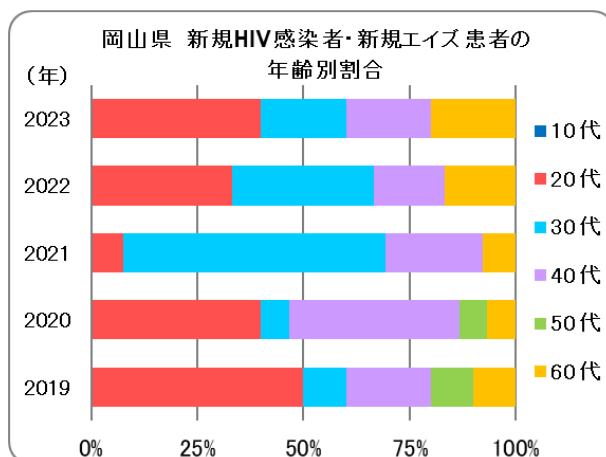
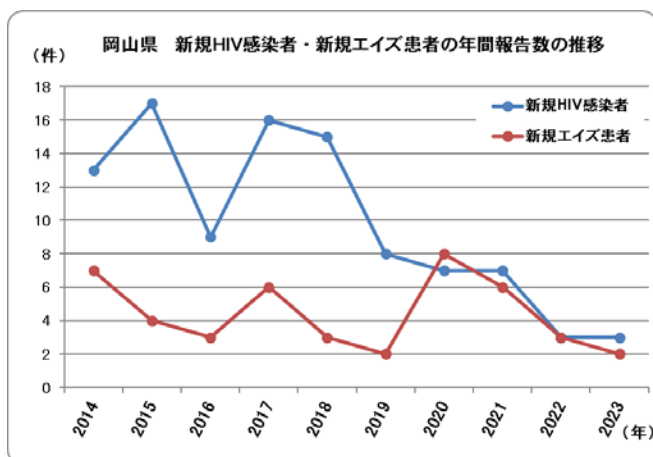


新規HIV感染者 …… HIVに感染しているものの、受診時にエイズを疑う症状がなかったもの。

新規エイズ患者 …… 受診時、すでにエイズを発症しており、「エイズ（AIDS）」患者として報告されたもの（す
（いきなりエイズ） …… でにHIV感染者と報告され、後にエイズを発症した症例は除く）。

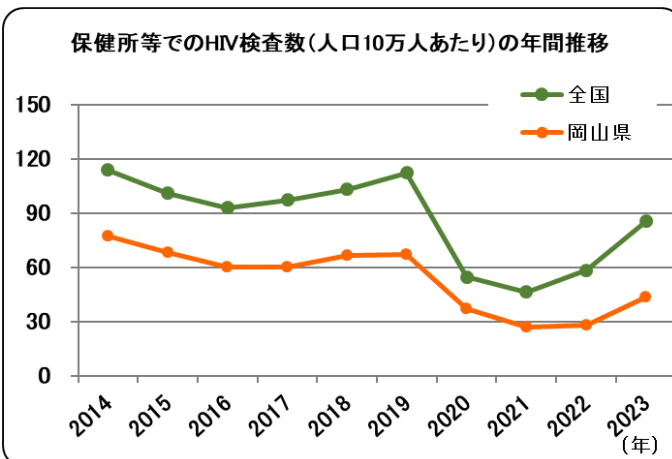
2. 岡山県の新規HIV感染者と新規エイズ患者

2023年の岡山県における新規HIV感染者（3名）と新規エイズ患者（2名）の報告数の合計は5件であり、男性が3名、女性が2名でした。年齢別割合をみると、20～40代および60代で発生が報告されています。



3. HIV 検査について

岡山県内で自発的に HIV 検査を受けた人の数は、2020 年以降、新型コロナウイルス感染症流行に伴い大幅に減少し、2023 年は増加したものの、2019 年以前の件数には至っていません。HIV に感染してからエイズ発症までは、通常数年程度自覚症状がない時期が続くため、感染していることに気づきにくく、知らないうちに大切な人にうつしてしまう可能性があります。HIV 治療は急速に進歩しており、早期に感染を知り発症する前に適切な治療を開始できれば、定期的に通院しながら今までとほぼ同じ生活を送ることが可能です。HIV に感染しているかどうかは、HIV 検査を受けないとわかりません。早期発見・早期治療がエイズ発症防止や感染拡大防止にも結びつくことから、拠点病院（一律 1,000 円）や保健所（無料・匿名）での HIV 検査を積極的に利用しましょう。



県内 10 か所のエイズ治療拠点病院において、検査を実施しています。

- *いずれの拠点病院でも一律 1,000 円で受けられます(要予約)。
- *検査は匿名では受けられませんので、ご注意ください。
- *検査結果は検査を受けた日(約 1~2 時間後)にお知らせします。
- *確実な検査結果を得るためには、感染機会があったと思われる日から、8 週間以上経過していることが必要です。
- *事前に電話での予約が必要です。

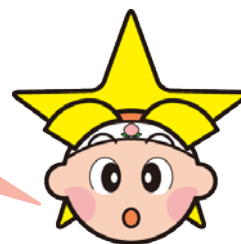
岡山県内では、HIV 検査普及週間中に特定の県内保健所・支所において、定例日以外や夜間でも検査を実施しています。

- *検査は無料・匿名で受けることができます。
- *通常検査では 1 週間後、迅速検査では 1 時間後に結果をお知らせしています。
- *確実な検査結果(性感染症を含む)を得るためには、感染機会のあった日から、3 か月たって検査することをおすすめします。
- *HIV 以外に梅毒・クラミジアの検査も受けることができます。(通常検査のみ)
- *事前に電話で予約が必要です。

検査日時はこちらをご覧ください

⇒ [【おかやまエイズ感染防止作戦】](#)

梅毒等の性感染症にも
気をつけましょう



© 岡山県「ももち」

風しんの抗体検査(無料)を受けましょう!

<妊娠を希望する女性や同居する家族の方>

岡山県・岡山市・倉敷市では、先天性風しん症候群(CRS)*の予防を目的として、**風しんの無料抗体検査**を実施しています。

県内の抗体検査実施医療機関において、窓口で費用を負担することなく検査を受けることができます。検査の詳細は、下記のホームページ

岡山市・倉敷市以外 → [風しんの無料抗体検査が受けられます](#) (岡山県疾病感染症対策課)

岡山市 → [風しんの無料抗体検査](#)

倉敷市 → [風しん抗体検査について](#)

をご覧ください。

<1962(昭和37)年4月2日から1979(昭和54)年4月1日までに生まれた男性>

風しんの抗体保有率が低い1962年4月2日から1979年4月1日までに生まれた男性に対して、まずは**無料で抗体検査**を受け、**抗体価が低い場合は風しんの予防接種を無料で受けることができる**制度が、実施されています(2025年3月31日まで)。

以下の医療機関で、無料の抗体検査が受けられます。

[市町村から届いたクーポン券を使用できる岡山県内の医療機関リスト](#)

※妊娠初期に風しんに罹患すると、出生児に先天性風しん症候群(CRS)と総称される障がいを引き起こすことがあります。先天性心疾患、難聴、白内障が3大症状です。

岡山県の2019年4月~2024年2月の風しんのクーポン使用実績(抗体検査)は、34.5%と未だに低い状況です!

CRSを防ぐためにも、必要な方は確実に予防接種を受けましょう!

[風しんの追加的対策について\(厚生労働省\)](#)
[風疹に関する疫学情報\(国立感染症研究所\)](#)
[“風疹ゼロ”プロジェクト\(日本産婦人科医会\)](#)



© 岡山県「ももっち・うらっち」

保健所別報告患者数 2024年 21週(定点把握)

(2024/05/20～2024/05/26)

2024年5月30日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	4	0.05	-	-	2	0.13	1	0.07	-	-	-	-	-	-	1	0.10
RSウイルス感染症	57	1.06	13	0.93	17	1.55	4	0.40	16	2.29	-	-	-	-	7	1.17
咽頭結膜熱	58	1.07	12	0.86	6	0.55	7	0.70	26	3.71	-	-	2	1.00	5	0.83
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	179	3.31	69	4.93	43	3.91	14	1.40	28	4.00	9	2.25	4	2.00	12	2.00
感染性胃腸炎	208	3.85	86	6.14	33	3.00	42	4.20	18	2.57	10	2.50	2	1.00	17	2.83
水痘	3	0.06	1	0.07	1	0.09	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
手足口病	114	2.11	43	3.07	19	1.73	8	0.80	28	4.00	16	4.00	-	-	-	-
伝染性紅斑	1	0.02	-	-	-	-	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	15	0.28	7	0.50	1	0.09	1	0.10	6	0.86	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	10	0.19	5	0.36	4	0.36	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	5	0.09	2	0.14	1	0.09	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	1	0.20	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2024年 21週(発生レベル設定疾患)

(2024/05/20～2024/05/26)

2024年5月30日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	4	0.05	-	-	2	0.13	1	0.07	-	-	-	-	-	-	1	0.10
咽頭結膜熱	58	1.07	12	0.86	6	0.55	7	0.70	26	3.71	-	-	2	1.00	5	0.83
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	179	3.31	69	4.93	43	3.91	14	1.40	28	4.00	9	2.25	4	2.00	12	2.00
感染性胃腸炎	208	3.85	86	6.14	33	3.00	42	4.20	18	2.57	10	2.50	2	1.00	17	2.83
水痘	3	0.06	1	0.07	1	0.09	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
手足口病	114	2.11	43	3.07	19	1.73	8	0.80	28	4.00	16	4.00	-	-	-	-
伝染性紅斑	1	0.02	-	-	-	-	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	10	0.19	5	0.36	4	0.36	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	5	0.09	2	0.14	1	0.09	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

濃黄セルに赤数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル3
薄黄セルに黒数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2を示しています。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2024年 第21週 2024/05/20～2024/05/26)

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	1	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～	
RSウイルス感染症	57	8	9	25	10	2	2	1	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱	58	2	6	21	4	8	5	5	4	1	-	-	2	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	179	1	-	8	12	18	19	24	17	16	17	14	21	2	10
感染性胃腸炎	208	5	18	27	18	22	20	12	14	9	10	10	23	1	19
水痘	3	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	
手足口病	114	1	11	50	14	16	11	7	2	-	-	-	-	2	
伝染性紅斑	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
突発性発疹	15	1	4	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ	10	-	-	3	3	4	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎	5	-	-	-	1	-	1	1	1	-	-	1	-	-	

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0)

保健所別

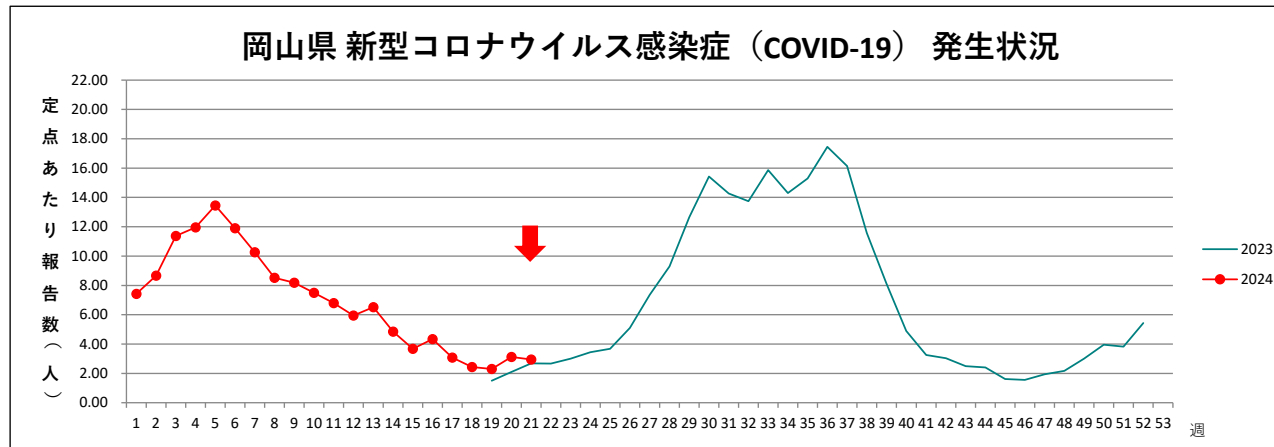
疾病名	全县		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	247	2.94	33	1.50	62	3.88	32	2.13	28	2.33	53	8.83	8	2.67	31	3.10

(- : 0 or 0.00)

年齢別

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	247	-	1	6	3	3	2	5	3	4	4	4	10	12	23	23	35	33	26	25	25

(- : 0)



全数把握 感染症患者発生状況

2024年 21週

分類	疾病名	2024		2023	疾病名	2024		2023	疾病名	2024		2023
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-								
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	1	85	211	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	中東呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H7N9)	-	-	-								
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	-	1	腸管出血性大腸菌感染症	2	9	104
	腸チフス	-	-	1	パラチフス	-	-	-				
四類	E型肝炎	-	-	2	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	3	-
	エキノコックス症	-	-	-	エムポックス	-	-	1	黄熱	-	-	-
	オウム病	-	-	1	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-
	キャサヌル森林病	-	-	-	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-
	コクシジオイデス症	-	-	-	ジカウイルス感染症	-	-	-	重症熱性血小板減少症候群	-	-	4
	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-	ダニ媒介脳炎	-	-	-
	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-	つつが虫病	-	-	4
	デング熱	-	-	-	東部ウマ脳炎	-	-	-	鳥インフルエンザ	-	-	-
	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本紅斑熱	1	4	13	日本脳炎	-	-	-
	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-	鼻疽	-	-	-
	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-
	発しんチフス	-	-	-	ボツリヌス症	-	-	-	マラリア	-	-	-
	野兔病	-	-	-	ライム病	-	-	-	リッサウイルス感染症	-	-	-
	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-	レジオネラ症	4	11	48
	レプトスピラ症	-	-	-	ロッキー山紅斑熱	-	-	-				
五類	ア메ーバ赤痢	-	1	11	ウイルス性肝炎	-	-	4	カルバベナム耐性腸内細菌目細菌感染症	-	12	28
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)	-	-	1	急性脳炎	-	6	11	クリプトスポリジウム症	-	-	-
	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	1	-	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	18	10	後天性免疫不全症候群	-	5	5
	ジアルジア症	-	-	1	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	5	10	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	1	-
	侵襲性肺炎球菌感染症	1	12	35	水痘(入院例に限る。)	-	3	5	先天性風しん症候群	-	-	-
	梅毒	6	128	316	播種性クリプトコックス症	1	3	2	破傷風	-	-	4
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	2	百日咳	1	2	22
	風しん	-	-	-	麻しん	-	-	-	薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	2

